



2017年11月発行

《随筆》

## 下田光造先生と森田正馬先生の交友



元・高良興生院入院患者 こうらこうせいいん 今井 壽正 いまい ひさまさ

(元・東京臨海病院院長。神経内科医)

今から 52 年前の秋、高良興生院に約 40 日間入院し、高良先生、阿部先生のご指導で森田療法を授かった元院生です。

時は流れ、この 11 月 1 日の午後、私は保存会資料室での座談会の後、奥の壁に掲げられた 3 人の先生方の肖像写真をマジマジと見つめました。向って左に下田光造先生、中央に高良武久先生、右に森田正馬先生です。何故下田先生がそこにおられるのか皆様ご存じでしょうか、半月前に私が読んだ BRAIN and NERVE 2017 年 10 月のポートレート、渡辺 憲「下田光造 精神疾患の神経学的源流を探って」によると、下田先生は森田療法誕生の頃 (1922 年)、躁うつ病の重要な臨床的観察と研究をしつつ、禅にも深い興味を抱き東大医学部卒の禅僧飯田とう隠師の指導を受け、後に精神療法の技法にも繋がって行く努力を続けておられた。下田先生が森田療法を高く評価し紹介したことに対して、森田先生は自作の和歌を添えて感謝の書面を送り、以来両者の親交が続いた、と。

ポートレートに曰く：森田があるとき神経質療法についてドイツ語に翻訳して下田の紹介でドイツの学術誌「精神神経病学月報」に投稿したところ、理解困難として送り返された。さらに訂正のうえ再投稿したが同様の理由で却下された。その 2 年後森田から下田にこの論文について「如何にも残念である、何とかならぬであろうか。外国の通俗雑誌でもよいが」という趣旨の手紙が寄せられた。下田は、仏教理論を骨子とする森田の精神療法の日本人流のドイツ語で説明して外国人を納得させるのは容易でないと考え、以下の内容で返信した。「何故さようなくならぬことに精力を費やされるのであるか。彼らが貴下の学説を知りたいと切望するなら、自ら日本語を勉強して原文を読めばよい。釈迦や孔子が自己の教義を外国語に翻訳して発表したという話は聞かぬ。」森田は納得したのか、以後この話は立ち消えとなった。

ところで私も所持する森田正馬著「(新版) 神経質の本態と療法」(2004 年)によれば、一般向けに 1928 年に刊行された旧版は、近藤章久先生訳の英語版が 1998 年に刊行されています。近藤先生は高良先生のお弟子さんで、その後アメリカに渡りカレン・ホーナイ先生にも師事し、鈴木大拙、大谷光紹師らとも交流後、帰国されたとのことでした。

蛇足ですが、私の愛読書のひとつ、井筒俊彦著「禅仏教の哲学に向けて」(2014 年)は、井筒先生が欧米各地で英語で講演された原稿を基にした日本語訳です。

1 2017年春の心の健康講座（1回のみ）

4月19日（水）、「心の健康と森田療法—私の考える森田療法」の増野肇先生の講演には25名が参加されました。「治そうとしないで、楽しいことを見つけて広げる」生き方を教えていただきました。

2 総会と講演会（講師は丸山晋先生）

5月14日（日）、就労センター「街」3階の研修室で行なわれました。総会ののち講演があり、高良興生院に勤務された経験をお持ちの丸山晋先生が「私にとっての高良興生院」と題し話されました。この講演とその後のインタビューの内容は、専門家に委託しDVDに収録しました。参加者は30名でした。



3 森口婦長関連の座談会「高良興生院を支えた人たち」

11月1日（水）の午後、高良興生院の婦長として長年勤務された森口智恵野さんの姪孫さんからの要請にお応えして、座談会が2階資料室において行なわれました。座談会には高良興生院とご縁が深い阿部亨先生、丸山晋先生、今井壽正先生（元患者）、そして高良先生の次女・高良留美子女史（詩人）も駆けつけて下さいました。増野肇先生の進行で行なわれ、姪孫である若き女性（雑誌の編集者）は、森口婦長にまつわる思い出話を、熱心に聴いておられました。当日は、事務局スタッフが数名、同席させていただきました。

4 ナターリア・セミノヴァ女史の講演会

11月11～12日に熊本大学で開催された第35回日本森田療法学会にロシアから参加された後、東京に立ち寄ったのを機に、14日（火）に就労センター「街」の3階研修室において講演をお願いしました。この講演は、保存会としては後援の立場で支援しました。18名の参加がありました。



セミノヴァ女史は、以前、森田療法学会賞を受賞されており、どのような内容を話されるか、関心があった方がたが多かったようです。主題は「ロシアにおける心理社会的治療」、副題は「精神障害者への動機づけと介入」として通訳付きで話されました。

セミノヴァさんはロシアの患者さんに森田療法を適用しようとする場合、特に考慮を要することなど、ソフトな語り口でロシアにおける森田療法の現状を話してくれました。

《来年の予定》※前半分

1 2018年春の心の健康講座

第一回目 4月11日(水) 13:30 から 増野 肇先生(※水曜講話の日)

第二回目 5月13日(日) 13:30 から 比嘉 千賀先生(ひがメンタルクリニック)

2 総会

5月20日(日) 施設の見学(入院森田療法施設または森田関連施設)

3 次号のニュースレター

4月上旬発行予定。



●寄贈図書

下記の方々から保存会に寄贈されております。

1 畑野文夫氏(『森田療法の誕生』の著者)から

	書名	作者	出版社	冊
1	井上円了の教育理念		東洋大学	1
2	妖怪学の祖 井上円了	菊地章太	角川選書	1
3	井上円了の全国巡講データベース	三浦節夫	東洋大学	1
4	井上円了先生	三輪政一編		1
5	井上円了センター年報第21号 2012年発行		東洋大学	1
6	井上円了 新潟県人物評伝	三浦節夫	新潟日報事業社	1
7	井上円了の世界	高木宏夫	東洋大学円了学術センター	1
8	井上円了研究	資料集第一冊	東洋大学井上円了研究会	1
9	井上円了関係文献年表 1987年2月		東洋大学井上円了研究会	1
10	伝円了	平野威馬雄	草風社	1
11	井上円了の思想	小倉竹治	校倉書房	1
12	井上円了選集(第1・3・4・6・7・8・9・10・22・23・24・25巻) / 東洋大学			各1

2 高良留美子氏(詩人。高良武久先生の次女)から

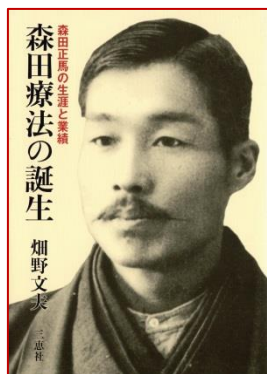
	書名	作者	出版社	冊
1	非戦を生きる 高良とみ自伝		ドメス出版	1
2	アジア・アフリカ文学入門	高良留美子	オリジン出版センター	5
3	性格学	高良武久	(株)白揚社	3
4	見えない地面の上で	高良留美子	思潮社	1
5	思春期・青年期	高橋義人編	学事出版	1
6	高群逸枝とボーヴォワール	高良留美子	叢紀書房	2
7	仮面の声	高良留美子	土曜美術社	1
8	詩集 しらかしの森	高良留美子	土曜美術社	1
9	渥美書房 国語・国文学文献目録No.3 4	1993. 10		1

10	城西文学 (12・16・18・19・20・21号)			各1
11	鴨渡る日	高良満智子	牧羊社	2
12	女性の開放	高良留美子	亜紀書房	4
13	女の選択	高良留美子	労働教育センター	1
14	高良留美子詩集		土曜美術社	4
15	アジア・アフリカ詩集	高良留美子訳	土曜美術社	1
16	拒食しか知らなかった	小林万佐子	星和書店	1
17	1896—1993 この時代に生かされて—高良とみをおくる			4

### 3 高良道生氏から

	書名	作者	出版社	冊
1	仮面の声	高良留美子	土曜美術社	1
2	高良武久詩集	高良留美子・高良真木	思潮社	1
3	高良留美子詩集		土曜美術社	1
4	世界的にのびやかに (写真集) —高良とみの行動的生涯—	高良留美子	ドメス出版	1
5	高良とみの生と著作 1巻～8巻		ドメス出版	1

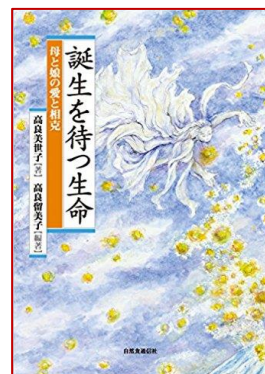
### ● 図書の紹介



同じ当事者である著者が、35年にわたる森田日記をもとに描いた新たな正馬像。



不安な時代に生きる知恵。「あるがままに生きる」—その理念と技法。



副題は「母と娘の愛と相克」  
高良先生の三女・高良美世子  
著、二女の詩人・高良留美子編

◇編集／発行 高良興生院・森田療法関連資料保存会

◇連絡先 東京都新宿区中落合 1-6-21 就労センター「街」内 ☎03-3952-9975  
ただし、火・水・金曜日の10時から17時まで。

◇電子メール info@hozonkai.net

◇ホームページ <http://www.hozonkai.net/> ※最新の講演情報などをご案内しております。